

(1) 地震防災訓練における行動ルール

① 地震直後の危険回避行動

○館内放送：防災センター

○放送内容：緊急地震速報・リアルタイム地震観測システムから提供される情報、冷静な行動の指示など

○フロア内での行動

- ・危険箇所から速やかに退避するように呼びかける。
- ・落下物や転倒物などから身を守る。
- ・館内放送に従って冷静に行動し、二次災害を防止する。

○エレベータ内での行動

- ・自動停止した場合、エレベータ内から速やかにでて、エレベータホールで待機する。
- ・閉じ込められた場合、非常ボタンを押し続け、防災センター・管理会社へ通報して助けを待つ。

※参考 気象庁：緊急地震速報パンフ <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/sokuho0803/sokuho.pdf>

② 傷病者の搬送

○傷病者情報の記録：氏名、搬送先

○待機場所：新宿郵便局側非常用エレベータ前

○搬送指示：災害対策本部から救護所開設の連絡後、統括責任者が判断

【防災拠点】統括責任者→情報収集担当 →【各フロア】フロア責任者→応急救護班

○搬送者：応急救護班、学生

○搬送経路：新宿郵便局側非常階段

○搬送先：1 階アトリウム内救護所

○災害対策本部への搬送完了報告：応急救護班

③ 指定避難階への避難

○避難指示

3 限目講義教室、図書館、生協、食堂：13 時 35 分以降、フロア責任者が指示

【各フロア】フロア責任者→避難誘導班

高層階 12 階以上：災害対策本部から指示後、統括責任者が判断・指示

【防災拠点】統括責任者→情報収集担当 →【各フロア】フロア責任者→避難誘導班

○フロア内の避難完了確認：フロア責任者

○避難経路

奇数階→京王プラザホテル側非常階段

偶数階→新宿郵便局側非常階段

○指定避難階

共通課程・校友会・建築系：高層棟 8 階

電気系：高層棟 7 階

化学系：高層棟 6 階

機械系・GE 学部：高層棟 5 階

情報学部：中層棟 6 階

○指定避難階への避難完了確認：統括責任者

○災害対策本部への避難完了報告(無線機)：情報収集担当

④各フロア・防災拠点・指定避難階から災害対策本部への被害情報・傷病者情報等の報告の流れ

○被害情報、傷病者情報

【各フロア→防災拠点】

通報連絡班→情報収集担当→記録担当(被災状況等報告用紙に整理)→統括責任者が最終確認

【防災拠点→災害対策本部】

情報収集担当→(無線機、緊急通報システム)→災害対策本部

○安否情報

【指定避難階】

フロア責任者・初期消火班・通報連絡班・避難誘導班(学生・教職員名簿を利用)→情報収集担当→記録担当(学生・教職員名簿に整理)→統括責任者が最終確認

【指定避難階→災害対策本部】

情報収集担当→(無線機)→災害対策本部

上記報告後、情報収集担当は被災状況等報告用紙と学生・教職員名簿を災害対策本部へ提出

※緊急時には、各フロアの屋内消火栓設備上部にある非常電話を使って防災センターへ通報する。

※フロア内での行動・対応は、原則、統括責任者の判断と指示に従う。なお講義教室階など統括責任者を決めていないフロアでは、フロア責任者がその役割を代行する。

(2) 災害対策本部、防災拠点、各フロア、指定避難階における情報収集・伝達手段

【災害対策本部】

機器・手段など	情報収集に利用	情報伝達に利用	備考
無線機	○	○	・ 12 階以上防災拠点間との情報収集・伝達に利用
緊急通報システム	○	○	・ 館内放送設備へ接続準備中 ・ 12 階以上防災拠点間との情報収集・伝達に利用
館内放送		○	・ 新宿校舎全館に対する情報伝達に利用
災害時優先電話	○	○	・ 八王子校舎災害対策本部間との情報伝達に利用
緊急地震速報	○		・ 震源情報や地震規模などの情報を入手
リアルタイム地震観測システム	○		・ 新宿校舎の揺れや構造的被害推定などを確認
WebGIS	○	○	・ 長距離無線 LAN・学内 LAN を介して八王子校舎災害対策本部や新宿西口現地本部から入力される被害情報や交通機関情報等、八王子校舎の教室内の受講者情報(Excel 形式)などを入手 ・ 八王子校舎災害対策本部への情報伝達(Word・Excel・PDF・JPEG・BMP 形式など)にも利用可能
在館者把握、安否確認システム(準備中)	○		・ IC 学生証を利用した在館者把握、Kuport を利用した安否確認(準備中)(指定避難階で実施予定)
被災情報等報告用紙 学生・教職員名簿	○		・ 12 階以上防災拠点で集約された被害情報・傷病者情報、指定避難階で集約された安否情報

【防災拠点】

機器・手段など	情報収集に利用	情報伝達に利用	備考
館内放送	○		・ 災害対策本部や防災センターからの情報伝達
無線機	○	○	・ 災害対策本部間との情報収集・伝達に利用
緊急通報システム	○	○	・ 災害対策本部間との情報収集・伝達に利用
緊急地震速報	○		・ 震源情報、地震規模などの情報を入手
リアルタイム地震観測システム	○		・ 新宿校舎の揺れや構造的被害推定などを確認
被災情報等報告用紙 学生・教職員名簿	○	○	・ 記録担当が各フロア(12 階以上)の被害情報・傷病者情報、指定避難階での安否確認情報を整理 ・ 総括責任者が記載内容を最終確認 ・ 学生・教職員名簿は安否確認に利用

【各フロア】

機器・手段など	情報収集に利用	情報伝達に利用	備考
館内放送	○		・ 災害対策本部や防災センターからの情報伝達
非常電話		○ (緊急通報のみ)	・ 屋内消火栓設備の上部に併設。 ・ 受話器をあげるだけで防災センターへ通報できるが、全館で一回線のみ利用可能。 ・ 初期消火に失敗したなど緊急事態が発生した場合のみ使用。

【指定避難階】

機器など	情報収集に利用	情報伝達に利用	備考
無線機	○	○	・ 防災拠点にある無線機を持参 ・ 災害対策本部間との情報収集・伝達に利用
学生・教職員名簿	○	○	・ 防災拠点にある名簿を持参。筆記用具も持参。 ・ 総括責任者が最終確認 ・ 総括責任者が最終確認後、情報収集担当が被災情報等報告用紙とともに災害対策本部へ提出
在館者把握、安否確認システム(予定)	○		・ IC 学生証を利用した在館者把握、Kuport を利用した安否確認(準備中)(実施予定)

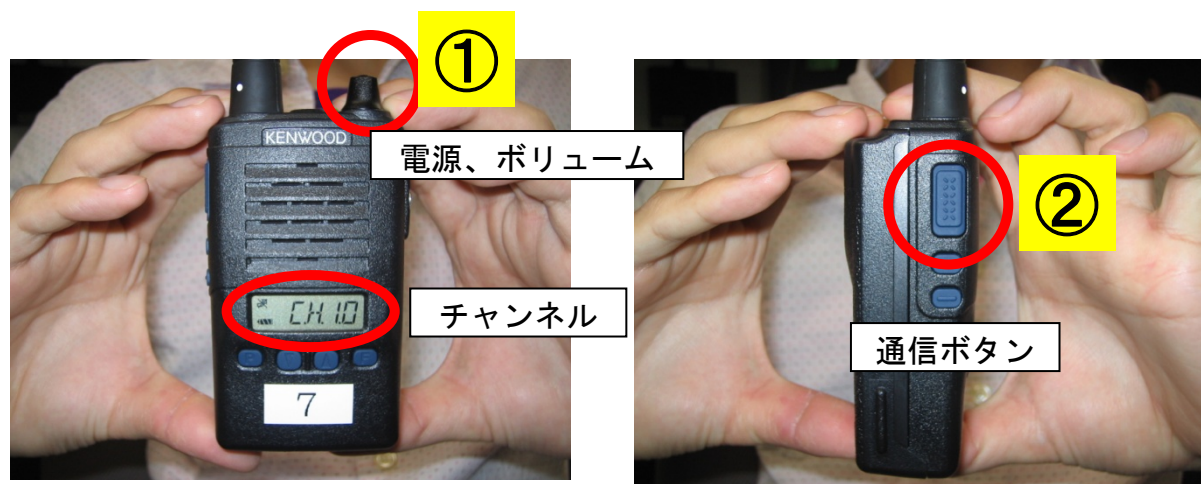


図1 無線機 (①電源・音量調節、②通信ボタン) ※チャンネル表は後日配布

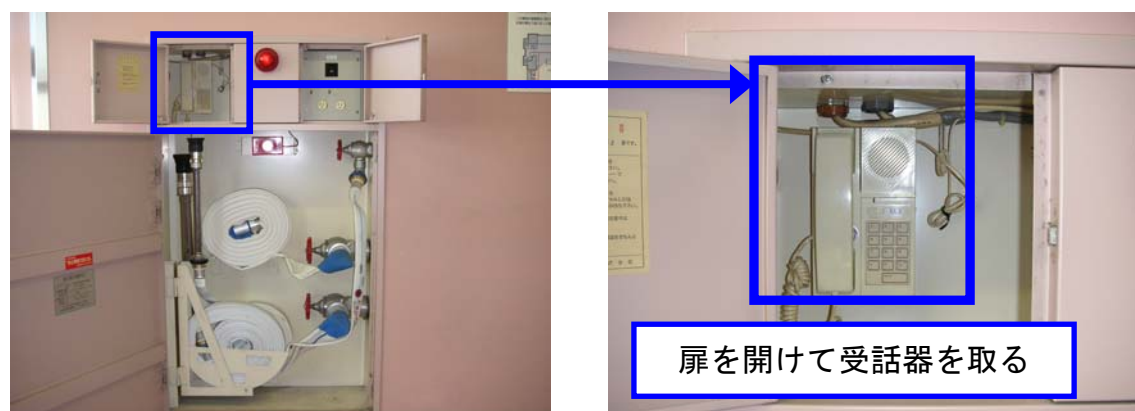


図2 非常電話(各フロア・屋内消火栓設備上部に併設)

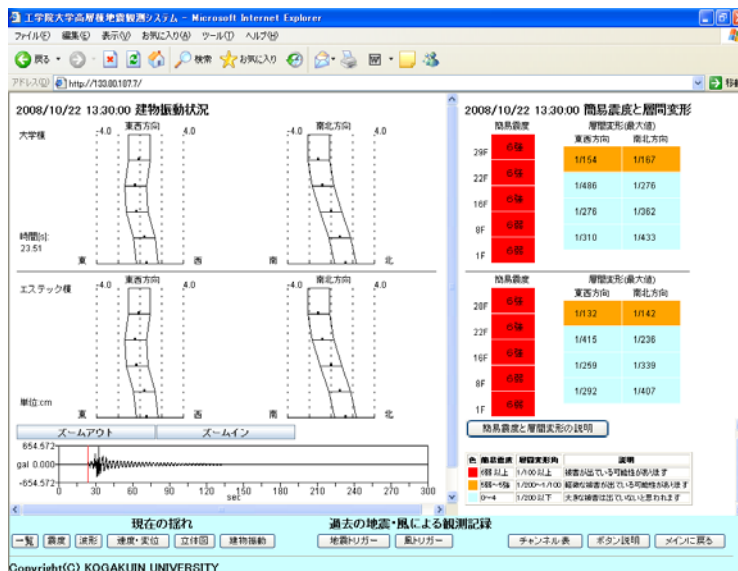


図3 緊急地震速報(左)とリアルタイム地震観測システム(右)の画面例



図4 緊急通報システム (ボタン名など変更の予定)

左: 防災拠点・災害対策本部に設置。特定の場所と通話できる電話器も接続。電話番号表は後日配布。
右: 災害対策本部・防災センター内の確認画面例。

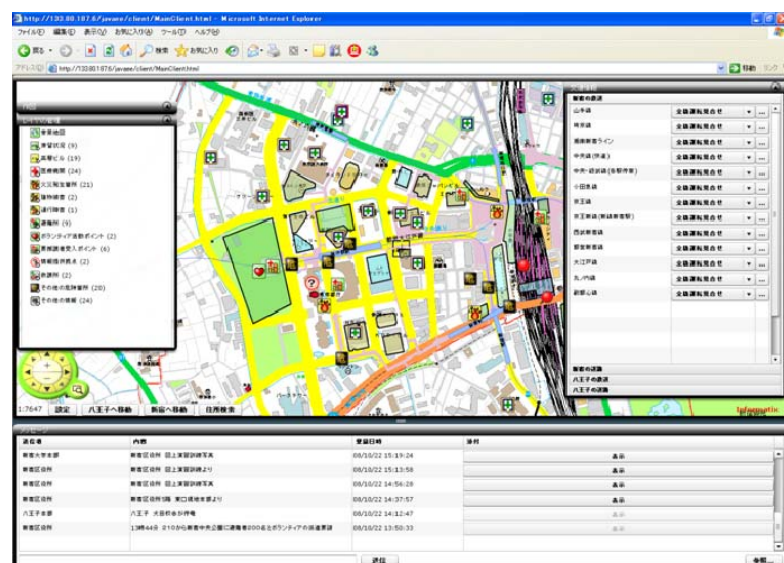


図5 WebGISの画面例(長距離無線LAN等を介して八王子校舎災害対策本部や新宿西口現地本部から入力される被害情報や交通機関情報等、八王子校舎の教室内の受講者情報などが入手可能。八王子校舎災害対策本部への情報伝達にも利用可能。)